

新宿区教育委員会会議録

平成28年第12回定例会

平成28年12月9日

新宿区教育委員会

平成28年第12回新宿区教育委員会定例会

日 時 平成28年12月9日(金)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 2時24分

場 所 新宿区役所6階第4委員会室

出席者

新宿区教育委員会

教 育 長	酒 井 敏 男	教育長職務代理者	古 笛 恵 子
委 員	菊 池 俊 之	委 員	羽 原 清 雅
委 員	今 野 雅 裕	委 員	菊 田 史 子

説明のため出席した者の職氏名

次 長	山 田 秀 之	中央図書館長	藤 牧 功 太 郎
教育調整課長	木 城 正 雄	教育指導課長	横 溝 宇 人
教育支援課長	高 橋 昌 弘	学校運営課長	山 本 誠 一
統括指導主事	小 林 力	統括指導主事	大 友 文 敬
統括指導主事	篠 塚 幸 次		

書記

教育調整課 管理係主査	高 橋 和 孝	教育調整課 管理係	薬 袋 和 明
----------------	---------	--------------	---------

議事日程

報 告

- 1 英語キャンプ（小学生の部）の実施について（教育支援課長）
- 2 視聴覚資料（DVD）の半閉架の実施について（中央図書館長）
- 3 その他

◎ 開 会

○教育長 ただいまから平成28年新宿区教育委員会第12回定例会を開催いたします。

本日の会議には、全員が出席しておりますので、定足数を満たしています。

本日の会議録の署名者は、菊池委員にお願いをいたします。

○菊池委員 承知しました。

○教育長 議事に入る前に、御報告がございます。

昨日、12月8日に、羽原委員と今野委員が教育委員として改めて任命をされました。お二人の方には、ともどもよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、改めてになりますが、お二人から御挨拶をいただきたいと思ひます。

まず、羽原委員お願ひいたします。

○羽原委員 よろしくお願ひいたします。

それでは、一言御挨拶させていただきます。

最近の犯罪状況を見ていると、理由の見当たらない事件が非常に多くなっています。相模原の施設の大量殺りく、名門私学の女子学生の殺人加担など、理由のわからない犯罪が増えています。それでいて、その背景にあるものが解明されないか、一般的に知らされていない、つまり、個人情報保護という大義名分から、報道も抑制しがちであるし、犯罪発生のなぜが社会的に共有されていないケースが目立ちます。氏名は必要ないのですが、この犯罪者の成長過程が明らかにされないと、犯罪の生まれる背景、あるいは土壌はなかなか分からない。そうしたことが、黙認、黙過されているような社会になってきている印象があります。その点を類推していきますと、やはり教育の責任、教育の取り組みを考えざるを得ないと思ひます。幼児期の情緒性、相手の立場を読む心得、社会とのつき合い方、社会のルールやマナーの身のつけ方、などにどうしても行き着いてきます。

本来、学力向上は教育委員会なり、学校現場の本来の課題ではありますが、その土台になる部分にも力を入れていかないとそうした社会形成というものが非常に内在した複雑な問題を抱えていかざるを得なくなると思ひます。

その根底の一つにあるのが、経済的や心の貧困の問題。新宿区は、そうした面で、頑張っているとは日ごろ学校訪問などで感じておりますが、ただ、この先、教育委員の一人としては、そうした点にぜひ目を注ぎながら、力を出していくことができればと思ひております。

という意味で、一言いつも余計なことを言うようではありますが、つまりなるべく教育現場の人に広い目で物を見るという、いろいろな意見がある幅の広い物の見方が必要だという、そういう視点から引き続きまたこうるさい話をさせていただきますが、その節は、御寛容にお願いいたします。ありがとうございます。

○教育長 ありがとうございます。

では、今野先生よろしく申し上げます。

○今野委員 再任となりましたので、2期目に入らせていただきます。1期4年を通じて、新宿区の教育委員会、教育委員がそれぞれの立場に立ちながら、非常に活発に、かつ率直にいろいろな意見を言い合う、そして、事務局の方々と意見をやりとりさせる、そして、一つの結論に向かっていくということを常にしてまいりました。私たちもそうしてきたわけですが、お伺いすると、代々の新宿区の教育委員会の伝統だということですので、第2期目もその流れの中で活発にいい仕事をしていきたいと思っております。

皆さん、よろしくをお願いいたします。

○教育長 ありがとうございます。

それでは、教育長の職務代理者の指名についても御報告をさせていただきます。

教育長職務代理者は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、委員の中から指名する必要があります。

現在は、古笛委員を教育長職務代理者として指名をしておりますけれども、12月16日をもって、その期間が終了いたします。そのため、新たに平成28年12月17日から平成29年10月16日まで教育長職務代理者として菊池委員を指名いたしました。どうぞよろしく願いをいたします。

それでは、菊池委員にも一言御挨拶をいただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○菊池委員 ありがとうございます。それでは、一言。

教育長職務代理者を務めさせていただきます。

何かありました際は、職務代理者として、意見を述べたり、指揮をとらせていただくかもしれないので、皆さんよろしくをお願いいたします。

○教育長 ありがとうございます。

職務代理者におかれましては、お力添えをいただくこともあるかと思っておりますので、改めてお願いを申し上げさせていただきます。

◆ 報告 1 英語キャンプ（小学生の部）の実施について

◆ 報告 2 視聴覚資料（DVD）の半閉架の実施について

○教育長 それでは、本日は議案がありませんので、事務局から報告を受けます。

報告1及び報告2について一括して説明を受けます。その後、質疑を行いたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

○教育支援課長 では、報告1、英語キャンプ（小学生の部）の実施について御報告させていただきます。

では、お手元の報告1の資料を御確認ください。

英語キャンプ（小学生の部）の実施でございますが、こちらは、今年度からの新規事業でございますが、夏に開催をいたしました中学生の部に続いての実施となっております。

まず事業概要でございますが、1番、目的、ここについては中学生の部と同様でございます。東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、推進する事業といたしまして、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験して、外国人へのおもてなしや異文化・国際理解を深めるとともに、ボランティアとしてのかかわりを含めたさまざまな活動に取り組む素地・基礎を養うため、2泊3日の宿泊体験を実施するといったものでございます。

こういった体験の中で、グローバルな視点等も養うといったことを念頭に置きながら、プログラムを組んでいるところでございます。

日程でございますが、(2)に記載のとおり、今月の26日月曜日から28日水曜日までの2泊3日で実施をする予定でございます。

これに先立ちまして、先週の土曜日、12月3日に、午前10時から教育センターで事前説明会を実施いたしました。当日どうしても都合のつかない3名の方を除いて、ほぼ全ての児童が出席をいたしまして、事前説明と、それから導入のための簡単なレクチャーを行いました。その場での反応は、非常に意欲の高い児童が集まっておりまして、当日も活発に活動がされるものではないかと感じたところでございます。

場所は、今回につきましても、女神湖高原学園ヴィレッジ女神湖を使用いたします。

今回の対象は、小学校の5年生から6年生46名ということで、こちらの規模につきましても、各校の第6学年のクラス、これに相当する人数ということで募集をかけさせていただきました。

(5)の内容でございます。こちら、1日目に8時に教育センターに集合し、出発をしまして、現地に到着してから、昼食をとり、そこからすぐにプログラムに入っていく予定でございます。

2日目は、丸一日プログラムを消化しまして、また3日に、前回の中学生の部と同様に、発表等を経て、午後に新宿に戻ってくるといった計画をしております。

具体的なプログラムといたしましては、中学生の部と同様に、アクティビティを取り入れてみたり、それからガイドブックをつくるといったことを今回小学生の部でも行いまして、英語のネイティブスピーカーと接する、あるいはさまざまな英語で体験をしてもらうといったことを計画しております。

実施に当たりましては、今回小学生で、中学生に比べてまだ英語になれていない部分もあるかということをお慮いまして、ネイティブの指導員を、前回中学生は4名だったものから8名に増員し、きめ細かに対応していきたいと考えております。

次に、(6)でございます。

参加費ですが、これは宿泊費、賄費、バス代相当ということで1人1万円をいただいております。

運営事業者は、プロポーザルで決定しておりますが、株式会社エデュケーショナルネットワークに委託をしております。

また、その他として、不測の事故等に備えるため、旅行傷害保険にも今回加入して事業を実施する予定でございます。

次に、2番の応募状況でございます。

先ほど申し上げましたとおり、今回、当初の計画では46名ということで事業を計画しておりましたが、実際に各校に募集をかけましたところ、中学生の部が好評だったこともございまして、総数で95名の応募がございました。内訳は、こちらに記載のとおりでございます。5年生が男女合わせて48名、6年生が男女合わせて47名ということで、非常に御好評をいただきました。

次に、参加児童の決定でございますが、先ほども申し上げましたとおり、46名ということで事業を計画しておりまして、運営体制もそのように準備をしていたことから、今回は、抽選を行いまして参加児童を決定しております。決定に当たりましては、まず、先ほど(4)で申し上げました各校第6学年のクラス相当ということをおらかじめ公表した上で今回募集をしておりますので、この数を基本としております。しかしながら、学校の規模等に

応じて、また、6年生が小学生最後となるといったことを考慮しながら抽選を行いました。最終的には、若干数ではございますが、受け入れ人数を拡大するといった調整を事業者と図りまして、50名を参加者数とさせていただいております。内訳としましては、先ほど申し上げましたとおり、6年生を優先したといったこともございまして、6年生が34名、5年生が16名の合計50名となっております。この人数で、先ほど申し上げました26日から28日まで行ってまいりまして、英語キャンプ終了後に改めてお声がけをするつもりでございますが、また改めて事業を行う、あるいは未来創造財団の事業等にボランティアとして参加する機会を設けるといったことなどにより、小学生のさまざまな体験に挑戦する機運を養ってまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

○教育長 ありがとうございます。

○中央図書館長 続きまして、報告2でございます。資料のほうを御用意してございますので、お聞きいただきたいと存じます。

視聴覚資料のうちのDVDにつきまして、半閉架とすることについての御報告でございます。

現在、図書館に所蔵する視聴覚資料（DVD）につきましては、著作権の補償処理をしている関係上、他の資料に比べて高額であることが多いということがございます。資料の汚破損、それからまた所在不明を予防したいということで、今般DVDの本体をカウンターに別置き、空ケースを開架書棚に置くという半閉架の対応を取らせていただきます。

御利用者の方々には、空ケースをカウンターにお持ちいただければ、そこで本体を装填いたしまして、貸し出します。こうすることによって、所在不明、あるいは汚破損を防止して、資料の保全をより強化をしたいということでございます。

実施時期でございますけれども、3番のところにありますように、まず下落合図書館が3月11日から開館いたしますので、こちらのほうは、当初から半閉架とするよう準備を進めているところでございます。

中央図書館におきましては、時期は未定でございますが、特別図書整理期間に半閉架に切りかえて実施していきたいと考えております。

また、区立図書館のうち、四谷図書館でございますけれども、作業スペース、またカウンター裏の別置の状況なども踏まえて、29年度につきましては、検討を行うということで、段階的に切りかえていきたいと考えてございます。

利用者等への周知につきましては、下落合図書館の開館記事の中に半閉架のことを紹介させていただきます。また、準備が整い次第「広報しんじゅく」で他の館については広報をしていきたいと考えてございます。あわせてホームページ、利用案内、声の図書館だより、館の掲示物等によって周知をしていきたいと考えてございます。

以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。

まず、報告1について御意見、御質問があればよろしくお願いたします。

○羽原委員 この応募と参加者の学校数を教えてください。

○教育支援課長 今回の応募学校数でございます。小学校が全校で29校ございますが、この中で、周知徹底を図ってもらいましたが、応募のなかった学校が2校ございました。応募のあった27校の児童を対象に抽選を行った結果、応募のあった全ての学校から数名ずつではございますが、参加していただく状況でございます。

○羽原委員 応募のなかった学校名を教えてください。

○教育支援課長 応募のなかった学校2校について申し上げます。天神小学校と落合第五小学校、この2校でございます。

○教育長 よろしいでしょうか。

○羽原委員 もう一つ。

○教育長 どうぞ。

○羽原委員 中学生の部の参加者の事後感想文というか、そういったものの内容は整理されているのでしょうか。

○教育支援課長 中学校の部につきましては、感想文といたしますか、アンケートを提出していただいております。内容的に非常に満足したといった評価をいただいております。総括といたしましては、英語に関する、またはこういったコミュニケーションをとることについての関心が高まったといった評価が100%だったということで、非常に高い評価をいただいているものと考えております。

○教育長 アンケートについては、協議会などの機会を捉えて一度各委員に見てもらうように時間をとってください。

○教育支援課長 はい承知いたしました。

○羽原委員 アンケートもいいのですが、やはり個人さまさまなので、アンケートで束ねないで、短くてもいいから感想文を書いて、何に感動したのか、こうしてほしいという要望に

ついて自由意思で聞いて、それを整理するということも必要ではないかと思えます。手数ではあるが、小学校では、これからこの50人という数が増える方向に行くとするれば、予算的にも、やはり子どもが何を感じて、何がプラスであったかということ、アンケートもいいが、もう少しバラエティーに富んだ形での報告を受けたほうがいいのではないかなと思えます。

○**教育支援課長** 御指摘のとおり、今後の参考とするためには小学生の部につきましては、そういう自由意見欄のようなものも設けまして、しっかりと分析できるように準備を進めてまいりたいと思えます。

○**教育長** よろしいでしょうか。

ほかに御意見、御質問ありますでしょうか。

○**今野委員** まだ本格的な教科になっていない段階での小学校の5、6年生がどのようにして英語体験活動をしていくのかとても興味があります。

視察の機会も設けられていますので、出席される委員もいらっしゃると思えますが、今からとても楽しみにしておりますし、じっくり子どもたちの様子を見てこようと思えます。

以上です。

○**教育長** ありがとうございます。

では、視察も予定していますので、よろしく願いいたします。

○**教育支援課長** お願いいたします。

○**教育長** ほかに、よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○**教育長** それでは、他に御質問なければ、報告1の質疑を終了させていただきます。

次に、報告2について御意見、御質問のある方はよろしく願いをいたします。

よろしいでしょうか。

この件については、ケースを渡すだけでこれまでと貸出し方法が大きく変わるものではありませんが、車いすの方などに対する、広報や周知については十分配慮していただきたいと思えます。

○**中央図書館長** 障害をお持ちの方々、例えば視覚障害の方々につきましては、声の図書館だよりや、点字広報といったところでしっかりと周知に努めていきたいと思っております。

○**教育長** よろしいでしょうか。

○**羽原委員** 半閉架とか、そういう専門的な言い方ではなくて、カウンターでお渡しできますと言えはわかるわけです。ケースは並んでいるけれどもカウンターへお越しく下さいと、そ

ういう言い方の方がいいのではないかと思いますけれども。

○教育長 説明の仕方ですね。

○中央図書館長 分かりやすく、ケースをお持ちくださいなど、丁寧、親切的な表示に心がけてまいります。

○教育長 よろしく願いいたします。

ほかに、よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○教育長 なければ、報告2についての質疑を終了させていただきます。

◆ 報告 3 その他

○教育長 次に報告3、その他ですけれども、事務局から報告事項がありますでしょうか。

○教育調整課長 特にございません。

◎ 閉 会

○教育長 ありがとうございます。

それでは、以上で報告事項を終了し、本日の教育委員会を閉会といたします。

ありがとうございました。

午後 2時24分閉会